



三事研広報

No.4



三重県公立小中学校事務研究会 平成 21 年 12 月 8 日

発行者 河村 尚紀 編集責任者 山中 祐樹

ご挨拶

今年も残りわずかになってきましたが、忙しい年の瀬をいかがお過ごしでしょうか。紅白やM-1などの番組名を聞く度に1年の早さを痛感せずにはいられません。より良い新年を迎える為、仕事に家事に追われる日々でお疲れの事かと思いますが体調管理を万全にしてクリスマスや大晦日、そして正月を有意義に過ごしたいですね。来年も三事研をよろしくお願いいたします！

第3回研修講座

平成21年10月9日、三重県総合文化センターにおいて第3回研修講座が行われました。

講座① 「監査結果からわかること（旅費・手当等）」

三重県監査委員事務局 監査主幹 松川勉氏を迎え監査について講演していただきました。監査する側のポイントをクイズなど交え語っていただき非常に貴重な話を聞くことが出来ました。

日々の仕事に直結し役立つだけ内容にもっと時間をかけて聞きたかったと多数の方から惜しまれる程の反響を呼ぶ講演となりました。

講座② 「学校内外における連携協力と学校経営への参画について」

三重中央短期大学非常勤講師 杓張久治氏より事務職員が学校経営へ参画するために必要な連携協力についてパワーポイントを使い、とても丁寧かつ分かり易い講演をしていただきました。

学校現場をよく知っている方だけに説得力充分で、連携協力およびコミュニケーション能力の重要性を感じる事が出来ました。

講座③ 「三事研研究部報告（私たちは本来の力を発揮できているか）」

この講座では参加者の皆さんに4人グループを作ってもらい、役員が用意した実践エピソードを元にご自分の実践について話し合っていました。

新採からベテランの方まで幅広い年代がそれぞれの実践を語り合い、熱気溢れる雰囲気皆さんが時を経つのも忘れ、大いに盛り上がっていました。コミュニケーション能力がますます重要になる学校現場において、とても有意義な試みとなりました。



お知らせ

来年2月5日（金）に行われる第41回東海地区公立小中学校事務研究大会松阪大会が近づいてまいりました。

『子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務』をテーマに実りある大会にする為、関係者が一丸となって頑張っています。皆様もこぞって大会への参加をよろしくお願いします。

下記のアドレスで松阪大会を紹介しています。PRビデオがあったり非常にユニークなページとなっており、興味をそそられます！ぜひご覧になってください。

<http://park3.wakwak.com/~miejiken/tokaimatsusaka/>



支部自慢 ～尾鷲支部～

自給自足！？地産地消！？

1月、2月 浜へ地ガキを拾いに行きます。小粒はレモンを搾ってツルンと生でいただきます。果物のような香ります。大粒は焚き火に放り込んで豪快に焼きます。弾ける殻を避けながらいただきます。シャンパンに限ります。

3月、4月 アマゴを求めて谷に入ります。テンカラ(毛針釣)でねらいます。炭火でじっくり塩焼きです。骨は骨酒でいただきます。

5月 アサリ堀(潮干狩り)に行きます。酒蒸にします。生姜をちょっと効かせます。大粒は七輪で焼きます。ふたが開いたら酒で薄めた醤油を垂らします。醤油の焦げた香りが堪りません。生ビールをぐいっといけます。

6月、7月 鮎の友づりで遊びます。炭火で塩焼きにします。背中からかぶりつきます。川の香りを楽しみます。鱈も釣ります。揚げたての天ぷらに岩塩を少し付けてホクホクをいただきます。キンキンに冷えた生ビールをいただきます。

8月 カツオがやってきます。ケンケンで引き釣り(トローリング)します。釣りたての身は透き通ってモチモチコリコリです。たまにはカルパッチョにしたりします。オリーブオイルとの相性もいいようです。

9月 海釣りの最盛期です。甘鯛、レンコ鯛、黒ムツ、ワラサ、鬼オコゼ釣ったらすぐに活け締めし、ほとんどの魚は刺身でいただきます。ビールをいただきます

10月 ハゲ(カワハギ)を釣ります。薄づくりを肝醤油でいただきます。河豚より甘いです。辛口の冷酒が合います。

11月、12月 大鯛をねらいます。薄造りをしゃぶしゃぶとしてお取り寄せのポン酢でいただきます。辛口の白ワインかシャンパンが良く合います。

支部自慢 ～伊賀支部～

伊賀支部は伊賀市と名張市の二つの市からなっており、事務研究の一環として二つの市が協力し、「伊賀地区小中学校事務研究会」を組織し、パソコンに関する研修を開催するなど、学校事務の研究活動に精力的に取り組んでいます。

私たちの住む伊賀地域では、秋を迎えると赤目四十八滝(名張市)や香落溪(名張市)の紅葉、忍者の街・上野(伊賀市)の散策、温泉で山の実りを味わうなど、行楽シーズンならではの楽しみがたくさんあります。



この秋の休日を伊賀で過ごしてみるのはいかがでしょうか？